

武漢市で開催された中国国際機械電機博覧会出展報告

株式会社 藤島 専務 藤島 正夫

第7回の展示会に続き2回目の出展となる今回は、昨年のイメージ展示からさらに1歩前進して、7月に国内販売を始めた製品を展示、中国国内での総代理店募集を行いました。

製品の本体部品はすでに武漢市内の業者に製作させていたので、現地で用意してもらい、照明部分の心臓部のみを持ち込み、組み立て後に運び込みをすれば出来上がる段取りとなる予定でした。

が、相変わらずの中国スタイルで事がスムーズに運びません。トラブルは有るだろうと覚悟してきていましたが、製品の塗装が終わっていない状態だとは想像していませんでした。

怒っていてもなにも解決しませんので早速塗装スプレーを買って来てもらい、そこにいた職工さんに手伝ってもらいながら自ら色塗りです。4mからなる街路灯を全て塗り上げて少々乾燥時間を待った後に搬入です。

搬入のためのトラックの手配も指示していましたが、案の定出来ていません。それからトラックの運転手を雇い、夕方に皆さんの力を借りて強引に搬入です。

しかし夜は歓迎レセプションへの出席がありますので、出来る範囲を行った後に一旦引き上げてレセプションへ。終了後再度展示会場へ戻り最後まで飾り付けを行い夜11時30分終了です。

出だしからだめだめムード満載ですが、展示会本番は大変盛況でした。それというのも大分市武漢事務所が3日間も新聞広告を出してくれてお陰で、新聞片手に尋ねてくる人が絶えませんでした。

外事弁公室の雷所長も積極的に後押しをしてくださり、地元テレビ局に弊社の取材を依頼してくれたりしました。武漢市関係者の皆様のご尽力には本当に感謝の気持ちで一杯です。

そして展示会中に尋ねてくれた企業は約40社余り、そのうちで有望な企業3社に絞り、会社訪問をさせて頂きました。

どちらの企業もやる気は凄く、こちらの方が圧倒されそうなくらいです。訪問させていただいた企業には日本から見積りを提出させて頂き、その見積りを持って市場調査をして頂き、販売する自信があれば引き続き交渉させて頂く事となり、展示会はすべて終了致しました。

相変わらず中国という国はトラブルが山積みで、問題が多い国ですが、今回の展示会を通して得たものは大変大きかったと思います。

得たものその1:中国市場での街路灯の実売価格帯。
得たものその2:中国市場でのニーズ及び問題点。
得たものその3:我が社に不足している部分と強み。
得たものその4:中国市場を知り、日本市場へすべき点が見えて来た。

契約まで行くにはまだまだ時間が掛かりそうですが、市場として有望なのは間違いないことですので、問題を一つ一つ解決しながら市場開拓を続けたいと思っています。

最後になりますが、この度も直接の窓口として日になり陰になり、この事業成立へご尽力いただきました大分市商工労政課の皆さんにはこの場をお借りしてお礼申し上げます。



博覧会会場の様子



商談風景



第八回中国国際機械電機博覧会開会式



地元テレビ局からの取材(左が(株)藤島 専務 藤島正夫氏)